

雪山体験講習会 PART2 in 会津駒ヶ岳 山行報告



恵まれすぎた雪山体験講習会？

【山城】会津駒ヶ岳

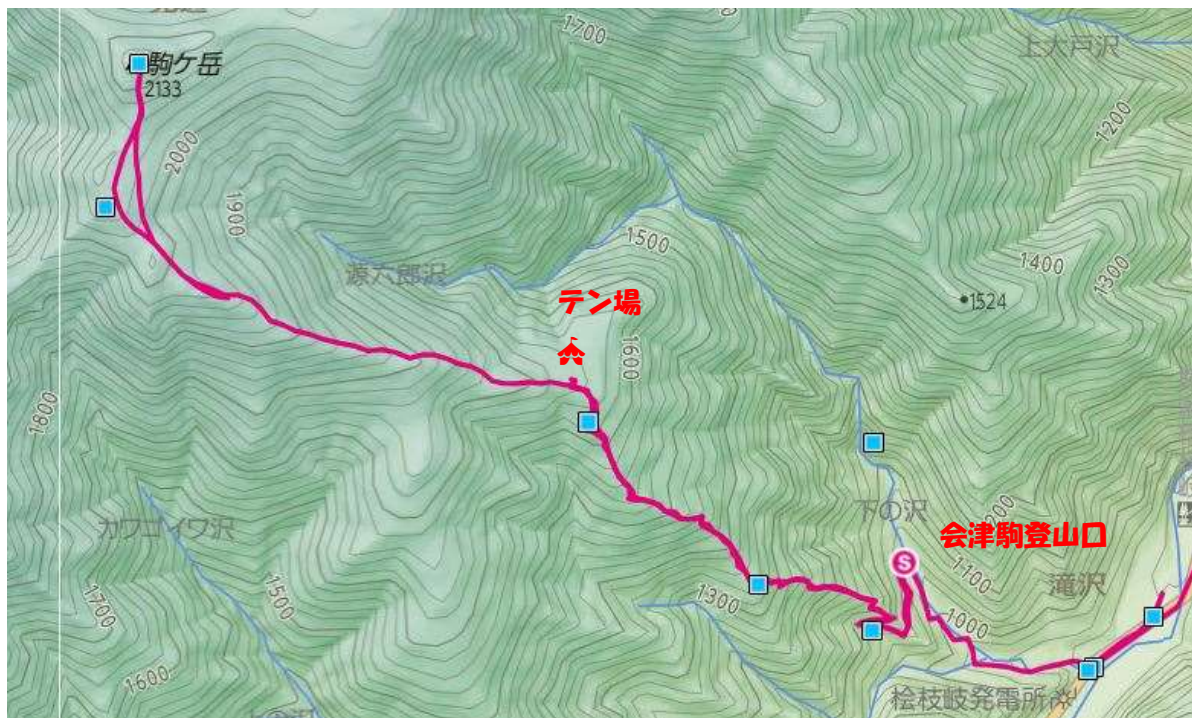
【日程と天気】2020年1月11日（土）晴後雪～12日（日）晴後雪

【メンバー】CL 板植、SL 澤田淳、SL 小俣、下牧、飯田、岩井、大木、平野、山口、澤田路、加藤、高山（記録）

【行程】

1月11日：前夜発道の駅湯の香 しおばら仮眠⇒松枝岐登山口（駐車）→夏道登山口階段の手前の冬道入口→標高1700m付近（幕営）

1月12日：幕場→（軽装で）会津駒ヶ岳→幕場（撤収）→松枝岐登山口⇒帰葉



今回の体験型講習会に参加してみて、恵まれることがあまりに多かったからか、楽しみたっぷりの実体験を、思わずシェアしたくなってしまいました。是非ご一読ください。

初日 白銀の世界へようこそ

今回の山行参加者は総勢 12 名で車 3 台に分乗し、千葉前夜発で東北道経由し道の駅湯の香しおぼらに到着仮眠。夜明け前の 5 時に起床、身だしなみを整え朝食を済ませて、6 時に出発し、桜枝岐登山口駐車場に 8 時過ぎに到着。



朝 9 時前に滝沢登山口の林道に入り、路面がアスファルトよりすぐさま真っ白の雪化粧の道に変化。積雪 20 センチほどであろうかと思われ、しばらくずぶずぶとしたツボ足歩きの感触を楽しんだ後、ワカンやスノーシューの出番となる。



眩しいほど明るい朝日に照らされながら林道にそって緩やかに標高を上げていく中、寒いところかむしろアウターを脱ぎ取るほどぽっかぽか。1 時間ほどで、会津駒登山口の標識が見えてきた。階段の前で一本を取り、ここでなんとシナノゴールドを担ぎ上げて分けてくださったツワモノが！タダでさえ美味しいシナノゴールドを雪山での休憩時にいただくのは自分にとって人生初めての経験だよ。雪山体験って良いもんだね（次回以降の雪山体験講習会の必須項目に加えてほしいなあ、笑）。ありがとう！

休憩後階段を登って、本格的な登山道に入る。



葉っぱが落ちた明るい林間をコースに取りながら進むわけだが、標高増に伴って、登山道の勾配が急になったり、雪だまりの場所に足が取られたりして、場所によってはトレースが降雪に消されて不明瞭になっていた。そこで、リーダーの指示に従って決められたオーダーのもと順番に先頭に立ち、ラッセルワークのトレーニングを開始した。途中で1回の休憩を挟んで、およそ2時間半の時間をかけてラッセルワークを1巡したところで、標高1700m近くに位置するテント場に到達。日没までたっぷり時間があるので、落ち着いてエスパース3張りを設営する場所選定、ベースの雪の踏み固め、設営と雪からの水造りなどの作業を進めた。

余っている明るい時間を利用して、軽装で駒ヶ岳山頂方面へ散策する提案が出て、リーダーからOKだったが、せっかくの初体験なので小生は水造りのほうに加わった。普段水道の蛇口を捻ればじゃーと出てきて、何気なく使っているその“いのちの水”、いざ雪上テント生活となると、雪から造るといのは、とても新鮮味があり、テントを汚さなく、しかも無駄なく効率的にこなせるうえで、いろいろとコツがあり、細心な注意が必要だな。ベテランの先輩から大いに学んだ。

山の夕飯は、4人のテント単位での共同食、ミニ宴会パーティと言って妥当かなあ？小生の加わったテントは、ほく以外全員山のベテランだったこともあり、生活面でずいぶんお世話になった。メインディッシュの豚のみそ鍋が超旨かったし、鶏むね肉のサラダなどの持参副菜やおつまみなど、加えて焼肉の差し入れまで、贅沢三味の冬山テントパーティーに、ほくが担ぎ上げた折り畳み式のアルミテーブルも大活躍。

しかし、有ろうことか、昼間晴れ晴れした天気が宴会中から急変し、テントの中からも聞こえるほど、雪がしんしんとテントに降りそそぎ始まった。こうなったら、早めの就寝。皆8時ごと寝床に。

翌日 いざ会津駒の頂上に立つ そして下山

2日目の朝5時に起床、朝ご飯を済ませて、テントをそのままに6時過ぎに軽装で頂上へ目指す。寝ている間に降り積もったおおよそ20cmの新雪は、前日までの登山道のトレースを消しとった。幸い曇っているとは言え雪が止んだので、林間の登山道の視界良好。前日よりも積雪が深く、再びラッセルワークの良い練習になった。しかも広々の尾根道の林間コースは時々ルートファインディング練習のチャンスを提供してくれた。

1時間ほど登ったところで、ガスっていたエレベーションを抜けて、青空のもと雪に被った山々と雲海の景観が壮大に広がっていた。



さらに進むと、8時過ぎに目の前に絵のような風景が楽しませてくれた。朝日を浴びた潔白の霧氷が青空をバックに、キラキラしてまるでおとぎの国に迷い込んだ錯覚さえ覚えた。幸せだな！厳冬の山に挑むものしか体験できない喜びってこういうもんだと自分に言い聞かせた。



頂上に近づくにつれ、視界がますます広がっていった。尾瀬の名峰燧ヶ岳もくっきり。



そして9:30 快晴のもと、いざ頂上に立つ人々の喜びが表情に溢れるのだった。Yeah!



程なくして頂上での記念撮影を済ませ、素晴らしい景色と新雪を踏み下ろして、ルンルンと下山開始。軽快した足取りで1時間足らずですいすいテン場に戻り、テント撤収して一路滝沢登山口近くの駐車場へと下る。午後1時過ぎに駐車場に戻り、その後近くの窓明の湯（500円）で汗を流し、道の駅番屋に寄って手打ちで数量限定の美味しいそばで舌鼓を打って帰葉。

ちば山に入会前は主に単独行で夏山を楽しんできた筆者にとって、ゲレンデスキーを除いて冬山は敷居の高い領域だった。今シーズン雪不足と叫ばれている中で、綿密かつ詳細な計画を立てて、積雪予測・山城選定・遂行まで苦心され、そして天気まで仲間にさせて

みせたリーダー、生活指導者、諸先輩及びすべての参加者メンバー各位に恵まれて、大変充実で満足度の高い雪山体験学習をさせていただきました。どうもありがとうございました！